

令和4年6月20日発行

立山町教育センターだより 号外4

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

中学校では、今週来週と期末テストが行われる予定です。小中学校とも1学期の評価の在り方について、十分に研修し、共通理解の下、一人一人の学習状況を捉えていただきたいと思っています。

訪問研修を終えて②

利田小学校

研修主題 : 主体的・対話的な学びを通して課題解決を楽しむ子供の育成

本校では今年度、自ら問いを見付け追究していく楽しさ、友達と意見を交流し対話を通して自分の考えが形成されていく楽しさ、自分の学びを実感し新しい課題を見付ける楽しさ等、様々な楽しさを味わいながら課題解決に取り組む子供の育成を目指しています。

学校訪問研修では、その手立てについて研修しました。

協議、指導助言により明らかになったことや残された課題の一部を紹介します。

<明らかになったこと>

- ・生活経験と関わらせながら課題を設定したり、体験したことを基に考えたりすることは、意欲を引き出す上で有効であった。
- ・子供の疑問や考えたいことに寄り添うことで、問題意識をもち課題解決の見通しをもつことができた。また、子供が自己決定できる課題を設定することで、自分の立場を明らかにして学習に取り組み、考えを深めることができた。
- ・学習を進めるための多くの教材が準備され、それらをタイミングよく出すことでやる気につながっていた。
- ・温かい学級づくりが特別支援の土台になる。支援が必要な子供の実態把握、個別の声かけ、ユニバーサルデザインを取り入れた全体への支援（構造化、視覚化、ICTの活用等）を継続していくとよい。

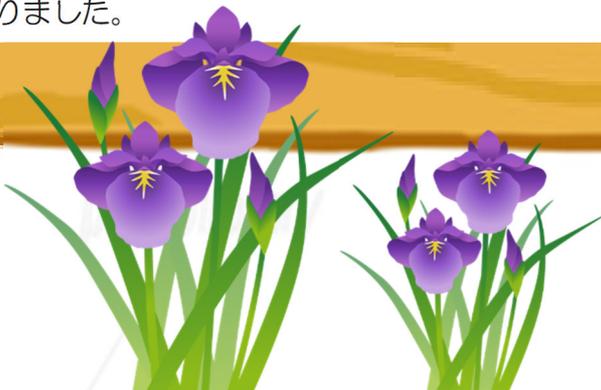


<残された課題>

- ・子供の思考過程を大切に授業を組み立て、効果的な問い返しを想定しておくことで、対話を通して学びを深める指導の在り方を探っていく。
- ・一人一人が学習の成果を確認できるように、友達の話聞き自分で再現する場や自分の考えを見直す場等、学びを振り返る場を大切にしていく。

利田の子供たちが育つための方法をたくさん教えていただき、よい研修の機会となりました。

文責 教務主任 深山 圭子



photolibary